



## 【外皮性能】一部異なる開口仕様を個別設定する方法

文書管理番号：1143-02

### Q. 質問

外皮性能計算で、一部の「窓」の開口仕様を、別の開口仕様に変更したい。

### A. 回答

 (外皮性能計算)で  (部材一括変更)から変更後、一部の開口仕様が一括設定した開口仕様と異なる場合は、「部材設定一覧」の「開口仕様」から個別に変更ができます。

「令和3年3月31日以前の仕様」では、「窓」については、あらかじめ部材一括変更の断熱仕様②で、「建物のそれぞれの面について、異なる開口仕様を設定する」方法と「建物の窓全て、同じ開口仕様を設定する」方法のどちらか近いパターンで開口仕様をまとめて設定し、「一括変更」を行うと「部材設定一覧」から個別に変更する箇所が少なくなります。

- \* 断熱仕様②の初期画面は「(窓 (建物の窓全て、同じ開口仕様を設定する))」が選択されています。
- \* 「窓(建物のそれぞれの面について、異なる開口仕様を設定する)」を選択する場合は、プラン図で入力している向きで上・下・左・右を判断し、各方位に該当する開口仕様を設定してください。

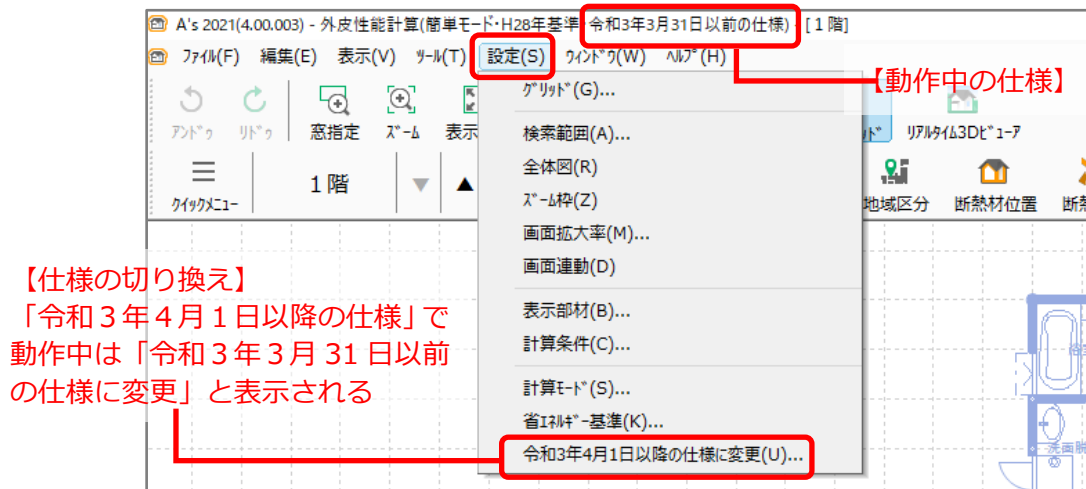
### 【参考】計算方法の仕様について


外皮性能計算は、「令和3年4月1日以降の仕様」（令和3年4月1日施行の「改正建築物省エネ法」に準拠した計算方法）、「令和3年3月31日以前の仕様」（これまでの計算方法）の両方に対応しています。

「令和3年3月31日以前の仕様」は、令和4年3月31日までは申請等に利用できます。

計算方法の仕様は「設定」メニューより変更でき、どちらの仕様で動作しているかは、画面上部のタイトルバーで確認できます。

計算方法の仕様を変更すると、元の仕様で設定した外皮仕様や条件を初期化し、計算内容がリセットされます。



ここでは下のよう、 (部材一括変更)を行った後、「部材設定一覧」に表示された開口仕様のうち、1階南面にある和室の「窓」を別の開口仕様に変更する方法を説明します。

変更したい開口仕様

部屋名	窓名	方位	仕様	熱貫流率	付属品	隣接空間	日射遮蔽物	庇有無	取得日数
WC	W-4	北	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
台所	W-5	北	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
台所	W-6	東	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-7	東	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-8	南	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-9	南	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
和室	W-10	南	S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数

↑「部材一括変更」後、部材設定一覧に各開口部の情報が表示される

## 操作手順

操作手順は「令和3年3月31日以前の仕様」で説明しています。

### ① 「部材設定一覧」の「開口部」タブをクリック

### ② 変更したい開口仕様をクリック

\* 選択行に該当する平面図上の開口部が赤く表示されます。

↑ 選択行に該当する平面図上の開口部が赤く表示

↓ ① 開口部タブをクリック

② 変更したい開口仕様をクリック

部屋名	窓名	方位	仕様	熱貫流率	付属品	隣接空間	日射遮蔽物	庇有無	取得日射量補正係数の計算方法
ホール	W-1	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
U. B	W-2	西	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
洗面脱衣室	W-3	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
WC	W-4	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
台所	W-5	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
台所	W-6	東	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-7	東	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-8	南	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
L・D	W-9	南	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数
和室	W-10	南	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数

\* 「部材設定一覧」で開口仕様を選択する際に、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら開口仕様を順にクリックすると、複数行を選択できます。キーボードの[Shift]キーを押しながら選択したい最初と最後の行をクリックすると、まとめて連続選択ができます。

\* 開口部の選択方法については、P.5の参考をご覧ください。

### ③ 仕様のプルダウンリストから希望の「開口仕様」を選択

\* ここでは「S01: 木(樹脂)製:ダブル Low-E 三層複層 G7 以上×2 取得」を選択します。

③ 開口仕様を選択

S01:木(樹脂)製:ダブル #Low-E三層複層G7以上×2取得, U値1.600

S06:木(樹脂)製:Low-E三層複層A9以上×2遮蔽, U値1.700

S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得, U値1.900

S08:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上遮蔽, U値1.900

S09:木(樹脂)製:Low-E複層A10以上取得, U値2.330

S10:木(樹脂)製:Low-E複層A10以上遮蔽, U値2.330

S11:木(樹脂)製:Low-E複層G8~G12取得, U値2.330

S12:木(樹脂)製:Low-E複層G8~G12遮蔽, U値2.330

S13:木(樹脂)製:遮熱複層A10以上熱線反射ガラス1種, U値2.910

S14:木(樹脂)製:遮熱複層A10以上熱線反射ガラス2種, U値2.910

S15:木(樹脂)製:遮熱複層A10以上熱線反射ガラス3種, U値2.910

S16:木(樹脂)製:遮熱複層A10以上熱線吸収板ガラス2種, U値2.910

S17:木(樹脂)製:複層A10以上, U値2.910

S18:木(樹脂)製:Low-E複層A5~A10取得, U値2.910

S19:木(樹脂)製:Low-E複層A5~A10遮蔽, U値2.910

S20:木(樹脂)製:Low-E複層G4~G7取得, U値2.910

S21:木(樹脂)製:Low-E複層G4~G7遮蔽, U値2.910

S22:木(樹脂)製:遮熱複層A6~A10熱線反射ガラス1種, U値3.490

S23:木(樹脂)製:遮熱複層A6~A10熱線反射ガラス2種, U値3.490

S24:木(樹脂)製:遮熱複層A6~A10熱線反射ガラス3種, U値3.490

S25:木(樹脂)製:遮熱複層A6~A10熱線吸収板ガラス2種, U値3.490

S26:木(樹脂)製:複層A6~A10, U値3.490

S27:木(樹脂)製:単板, U値6.510

S28:木(樹脂)製:熱線反射ガラス1種, U値6.510

S29:木(樹脂)製:熱線反射ガラス2種, U値6.510

S30:木(樹脂)製:熱線反射ガラス3種, U値6.510

S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得

④ (外皮性能計算)または計算結果の「再計算」をクリック

\* 計算結果に反映されます。

④ 「外皮性能計算」をクリック

「計算結果」に反映

④ 「再計算」をクリック

判定基準	省エネ基準	基準値	設計値	判定
UA値	外皮平均熱貫流率	0.87	0.42	OK
ηAC値	冷暖房期の平均日射熱取得率	2.8	2.1	OK
ηAH値	暖房期の平均日射熱取得率	-	2	-
外皮面積(m <sup>2</sup> )		308.08	地域区分	6
居室等の分類	床面積(m <sup>2</sup> )		再計算	
主たる居室		29.19		

部屋名	窓名	方位	仕様	熱貫流率	付属品	隣接空間	日射遮蔽物	庇有無	取得日射量補正係数の計算方法	庇相当物手動設定
ホ-ル	W-1	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
U、B	W-2	西	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
洗面脱衣室	W-3	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
WC	W-4	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
台所	W-5	北	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
台所	W-6	東	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
L-D	W-7	東	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
L-D	W-8	南	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
L-D	W-9	南	S07:木(樹脂)製:Low-E複層G12以上取得	1.9	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算
和室	W-10	南	S01:木(樹脂)製:ダブルLow-E三層複層G...	1.6	なし	外気	ガラスのみ	無し	定数	自動計算


**【注意】**

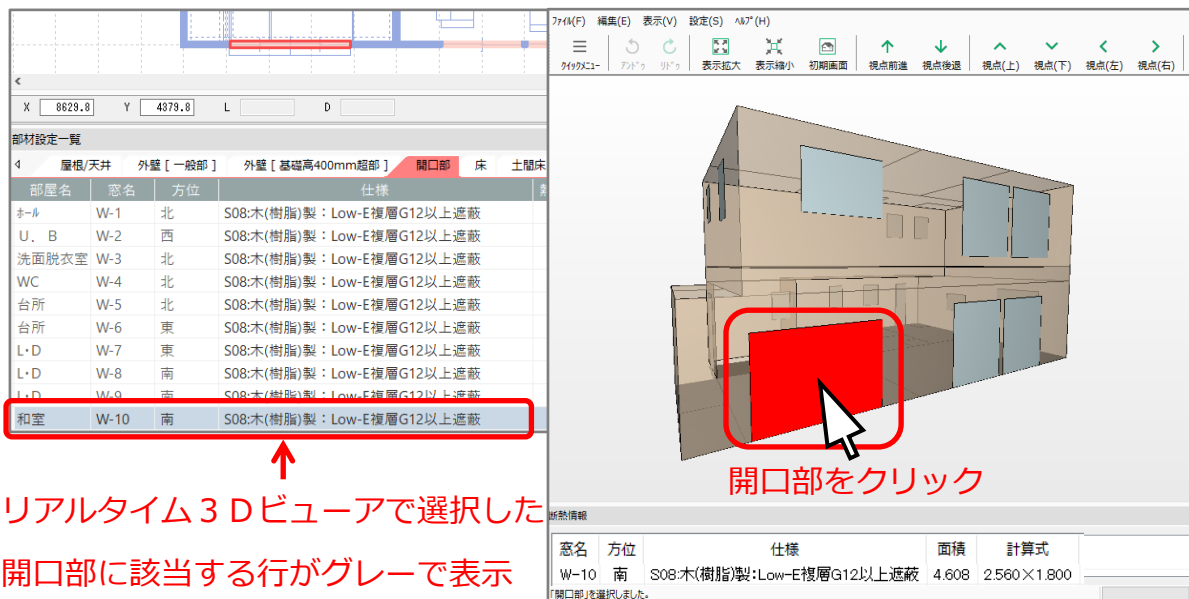
「部材設定一覧」で各部位の断熱仕様や情報を個別に変更した後、 (部材一括変更) を再度行うと、「部材設定一覧」で個別に変更した設定内容が消え、「部材一括変更」の設定内容に変わります。

## 参考：開口部の選択方法

開口部の選択には以下の方法があります。操作画面は、「令和3年3月31日以前の仕様」で動作した場合の画面です。

### ● リアルタイム3Dビューアで選択する場合

- \*  (リアルタイム3Dビューア)で開口部をクリックすると開口部が赤く選択され、「部材設定一覧」では該当する開口部の行がグレーになり、行選択されます。
- \* まとめて開口部を選択することはできません。



### ● 平面図で選択する場合

- \* 平面図で開口部をクリックすると赤く選択され、「部材設定一覧」では該当する開口部の行がグレーになり、行選択されます。
- \* キーボードの[Ctrl]キーを押しながら平面図の開口部を順にクリック、または対象の開口部をドラッグで囲むとまとめて選択ができます。

